

# 第75回ISO/TMB (技術管理評議会) 結果報告

経済産業省基準認証政策課

松本満男

令和元年7月22日

# TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介

---

## 1. 任務

- ISO規格作成に関する管理事務的事項

- ✓ TC/SC/PCの設置・廃止、議長任命、幹事国割当、ISO/IEC専門業務指針の改訂等

- ISO規格作成に関する戦略的事項

- ✓ 規格開発の効率化・迅速化、TC/SC戦略ビジネスプランの審議・承認、TC/SC活動の調整・モニタリング等

## 2. メンバー（出席者）

- TMB議長: Ms. Sauw Kook Choy（シンガポール）

- TMBメンバー（15名）: Mr. Steven Cornish (米), Ms. Amanda Richardson (英), Ms. Ulrike Bohnsack (独), Mr. Alain Costes (仏), Mr. Chenguang Guo (中), Ms. Karin Lindmark (スウェーデン), Mr. Marcel Knecht (スイス), Mr. Adrian O'Connell (豪), Mr. Jin Su Chun (韓), Ms. Julia Bonner Douett (ジャマイカ), Ms. Merete Holmen Murvold (ノルウェー), Ms. Mojdeh Rowshan Tabari (イラン), Dr. Mkabi Walcott (カナダ), Ms. Sofia Pacheco (メキシコ)

- ISO中央事務局: Mr. Nicolas Fleury, Mr. Antoine Morin

- IEC中央事務局: Mr. Gilles Thonet (SMB事務局)

- オブザーバー: Mr. Mitsuo Matsumoto (日)

## 【議題3.2.1】 TMB TF18 基盤規格(Foundational Standards)

### <背 景>

- 2018年9月、TMBは基盤規格に関してTF18を設立し、定義の開発、市場ニーズの把握、SWOT分析等の検討を開始。

### <審議内容・結果> 決議番号：49/2019

#### ①「水平規格類」の共通定義を承認

- 多数の委員会又はセクターに関連がある、若しくは標準化規格類全体で一貫性を確保することが極めて重要なテーマを取り扱う規格類。

注1) 水平規格類は、基本原則、概念、図記号、用語又は一般的特性を提示することができる。

注2) 一部の水平規格類は、新しい革新技术の実効性があり、公平で、責任ある監督の基盤となる。

#### ②ISO/CSはIEC/COと協力し、規格作成者及びユーザ向けのガイダンスを策定。

#### ③今後の進め方

- ISO/CS及びIEC/COに、2020年末までに水平規格類の使用及び価値に関する事例研究を提供する情報及び委員会を集めるよう要請。
- 2021年中旬に状況の見直しを行うとともに、次のステップを決定。

## 【議題3.2.2】 翻訳の実践に関するISOメンバー国調査

---

### ＜背 景＞

- TMBのTF17（代替的標準化プロセス）のうちWG 4からの推薦に基づき、規格開発過程における翻訳のベストプラクティスに関するガイダンスの準備を目的としてISOメンバー国向けの調査を実施。（2019年3月）
- 調査の結果、回答率は低く、一貫した結果を導き出すための回答は得られず。
- 規格開発過程の中途において翻訳を実施している国は少なく、規格が発効された後に外部の翻訳プロバイダを活用しているケースが多いことが判明。

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：50/2019

- メンバー国への調査の結果、回答率は低く一貫性に欠ける結果であった。
- 規格開発過程の中途に文書の翻訳を実施している国は少数であり、また、発行済みの規格を翻訳する回答者の多くは外部翻訳を用いている。
- 現状では翻訳の実施に関するガイドライン文書の必要性はないと結論づける。

## 【議題3.3.1】 TMB2020年作業計画

### <背 景>

- TMBの2020年作業計画（今後のスケジュール）
  - ・ 2019年6月中旬：CSC/SP会合後、翌年の作業計画案の準備を開始。
  - ・ 2019年8月中旬：9月のCouncil会合での承認を得るため、作業計画を提出。同時にPresident Committeeで一貫性と調整のレビューを実施。

### <審議内容・結果> 決議番号：51/2019

- TMB作業計画案を承認、以下のテーマについて今後具体的に検討。
  - ①ISO規格開発におけるプロジェクトマネジメントの実施
  - ②ISO/IEC/ITU戦略プログラムコーディネーショングループ（SPCG）
  - ③ISO規格仮想開発プロジェクト
  - ④機械可読規格に関するSAG
  - ⑤アクセシビリティに関するSAG
  - ⑥ジェンダーの視点を取り入れた又は中立な規格に関するガイドライン
  - ⑦改訂版ISO行動規範 – 実施/普及/訓練
  - ⑧標準化プロセスへの次世代の取込み

## 【議題3.4.1】 合同スマートシティTF（JSCTF） - 委託事項（TOR）

---

### <背 景>

- 2018年6月、TMBはISO/IEC/ITUの3機関によるJSCTFの創設を推奨。JSCTFの委任事項（TOR）はIEC/ITUとも連携しつつ作成し、2019年2月にITU-TからのTORを承認。それぞれの機関に専門家を選定するよう要請。
- 2019年4月、ISO/CSとIEC/COはITU-T Study Group 20(IoT, Smart Cities and Communication)の会合に招待され、ToRについて再度議論・修正。
- 2019年9月に開催されるITU/TSAG会合にて、ToRの最終承認の見込。

### <審議内容・結果> 決議番号：52/2019

- ITU-T SG20によるTORの修正案をTMBにおいて確認。
- JSCTFのTORの修正を承認。
- IEC及びITUに対して、スマートシティ専門家を任命するよう要請。

## 【議題3.6.1】 ISO委員会における「倫理」と「尊敬」に関わる問題

### ＜背 景＞

- ISO行動規範（CoC: Code of Conduct）は、ISOの委員会、WG等に関係する全アクターが対象となっている。
- TMBは、ISO委員会における不適切な行動について問題視し、ISO行動規範の見直しに着手、ANSI及びSNが提案文書を作成。

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：53/2019

- ANSIとSNによる提案について議論し、合意。改訂版CoCの即時発効を承認。
- 各委員会、WG会合の共通アジェンダ事項として、冒頭にCoCを付け加える旨決定。議長やコンビナーには、CoCの重要性等について会合参加メンバーに説明することが求められる。
- ANSIとSNに対し、ガイダンス文書と苦情処理プロセスの案の検討を要請。
- ①新CoCのISOWebページでの公開（[www.iso.org](http://www.iso.org)）、②会合アジェンダのテンプレートの更新・修正。
- 本件へのIECの参加を要請。（ISO/IEC専門業務用指針第一部改訂に向けて）

## 【議題3.6.2】 ISOにおける標準化活動への次世代の取込み

---

### ＜背 景＞

- 2019年2月、TMBは規格開発への次世代の取込みの重要性について、議論。非公式グループ（リード：イラン）を設置してグッドプラクティスを収集。

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：54/2019

- CSC/SPと協働でJoint Task Forceを設置。組織全体でのアプローチとして、どのように次世代を惹きつけるべきかについて進言する。
- TFのスコープを明確化し、ISO活動の担い手に対する責任・役割の適切な分配のあり方について検討。
- TFのスコープの明確化に併せて、どの分野について進めるべきかも精査。

### ＜Joint Task Forceの構造（案）＞

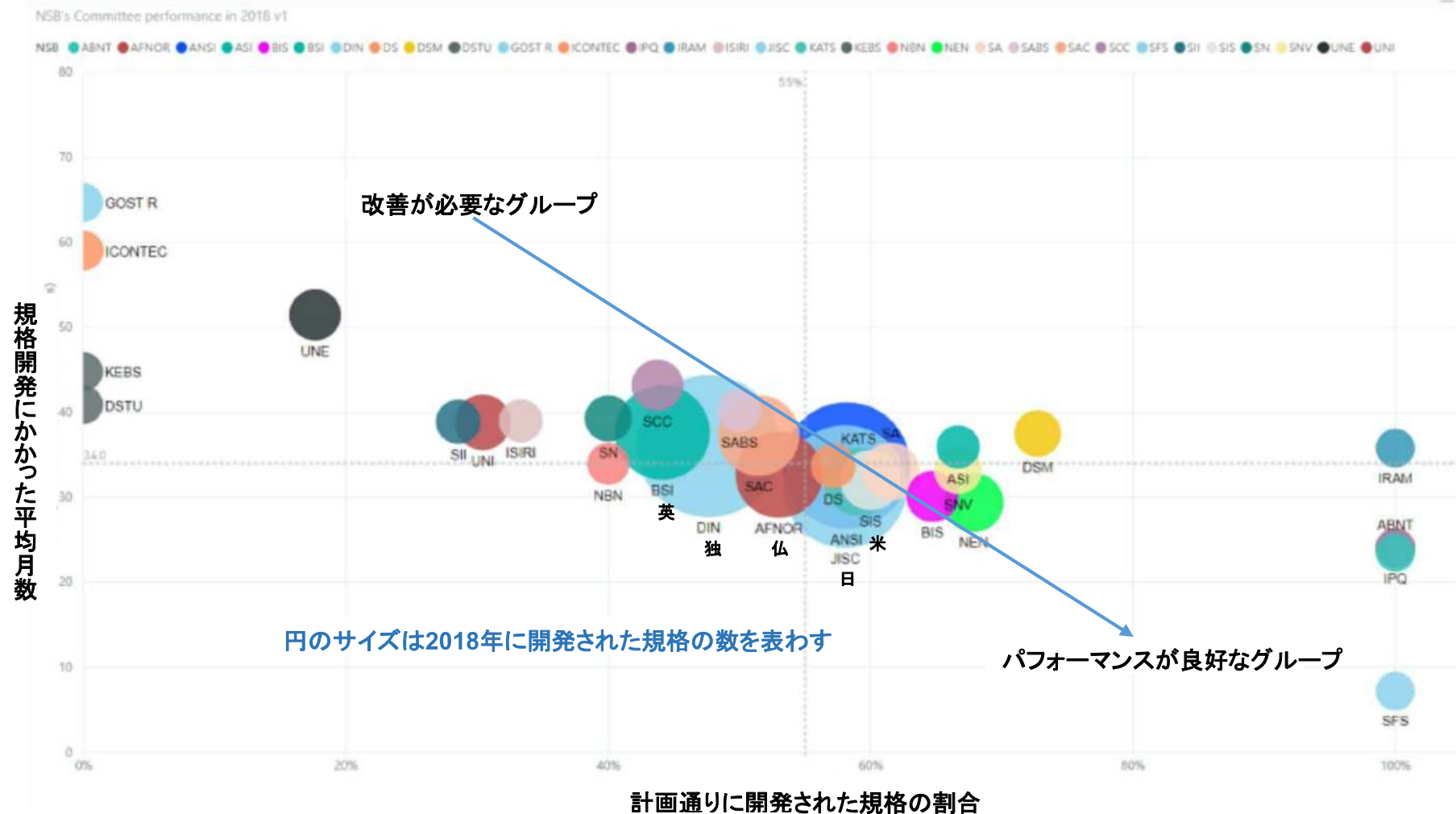
- ・ TMBメンバーシップ (仮): 未定
- ・ コンビーナ (合同リーダーシップ): 未定
- ・ 事務局: ISO/CS



# 【議題4.1】 TMB Dashboard: ISOにおける規格開発のパフォーマンス

## ● TMB Dashboardにおける評価項目

- ①規格開発に有する時間やプロジェクトマネジメント      ②質
- ③メンバーの投票パフォーマンス      ④TMBメンバーのリーダーシップ



## 【議題4.1】 TMB Dashboard: ISOにおける規格開発のパフォーマンス

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：55/2019

#### ● 以下の推奨事項を承認：

1. 全ての新規プロジェクトで規格開発の48ヶ月トラックのオプションを廃止。
  - ・ 36ヶ月トラックは9ヶ月の延長の要請可。48ヶ月トラックは延長要請不可。
2. 期日に間に合わない場合は、別の規格類とすることを推奨。
3. 18ヶ月トラックの適用について引き続き推奨。
4. DIS投票後のコメント処理期間（4ヶ月）の順守のため、ウェブ会議等のITツールの使用を推奨。TPMはこれを監視し、遅延時はCM及び該当NSBに連絡。
5. 開発期間48ヶ月以上の規格（約20%）の担当CMに連絡するようTPMに要請。
6. 57ヶ月以上経過しているプロジェクトは、取りやめるか、後日再始動するか（NWIP/単純な改訂の場合は決議）、発行を迅速に行うかをCM及びNSBと協議。
7. TMBメンバーは自国のCMに業務項目の目標期日を入力するよう奨励。TPMは入力がない目標期日を監視し、NSB経由でCMに注意喚起。
8. NSBには、自国のCMのパフォーマンスを定期的に監視するよう奨励。

**【議題5.1.1】 ISO 10393: 消費者製品リコール－供給者のためのガイドライン**  
**【議題5.1.2】 ISO 14452: ネットワークによる請求書送付－要求事項**

---

**<背 景>**

- いずれの規格も、定期見直しの結果、当該規格を使用又は採用していると表明した国数が5ヶ国に満たず、ルールに従って廃止するとされた。
- 他方、COPOLCOメンバーによる別途の調査の結果、多くの国が使用又は採用していることを表明したため、COPOLCOはこれらの規格を確認するようTMBに対して要請。

**<審議内容・結果> 決議番号：56・57/2019**

- TMBは、当該規格に係る廃止投票時に受け取った異議に留意。
- COPOLCOがメンバーを対象に行った当該規格の使用及び／又は採用に関する追加SR見直しで集めた追加情報を考慮。
- 本規格を使用している又は採用したと言明した国の数が定期見直し投票及びCOPOLCOの追加投票時を合わせると最小数の5ヶ国に達することに留意。
- 2つの規格の確認を決定。

## 【議題5.1.5】 ISO/TC71/SC4からの委員会独自手順の提案

### ＜背 景＞

- ISO/TC71/SC4（構造用コンクリートの要求性能）よりTMBに対して委員会独自の手順案が提出された。
- 当該SCでは、ISO19338と各国又は地域規格との整合性を評価し、「満足している」規格のリストを作成・公表している。

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：59/2019

- DMTメンバーへの協議において受領したコメントについて留意。
- 以下の点について留保することを決定。
  - ①提案事項に関するTMB決議
  - ②TMBによる解決策が示されるまでの間のTC71/SC4による上記行為
- ISO/CS及びTMBの懸念を伝えた上でTC71/SC4との協議を要請。
- TC71/SC4に対して2019年9月TMB会合に報告書を提出するよう要請。

## 【議題6.1.1】 JTC1“公共的に入手可能な規格”

---

### ＜背 景＞

- 現状ITTF(Information Technology Task Force)のWebサイト上、700以上の“公共的に入手可能な規格”が存在。JTC 1 規格が広くICTのコミュニティやJTC 1 関連のサブグループ、対外的リエゾンや企業によって活用されているため、規格開発の目的のみの利用に限るとしたISO理事会の決定等に関わらず、他の目的にも利用されているといった問題が指摘されている。

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：60/2019

- ITTFの報告に留意。
- 承認された規格数や規格の承認プロセスに関してより完全な監視を実行するためのさらなる情報の必要性に留意。
- ITTFが作成した新書式を歓迎。
- ITTFに対して、理事会が承認した基準に照らして当該規格を承認するためのプロセスについて直面する課題に関する報告書を2019年9月のTMB会合に提出するよう要請。

# ご清聴ありがとうございました

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/kijyun/index.html>

日本産業標準調査会ホームページ

<http://www.jisc.go.jp/>